

基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

推進項目

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

1 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会

- ・交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムの一環として、「第14回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」を開催（令和7年10月19日）。本大会では、特別協賛企業として株式会社 INPEX 社より3年間の継続協賛を受け、ハーフと10キロの2種目に加え、6年ぶりに5キロの種目を復活させた。また、10キロとハーフの部では出羽大橋を渡る新たなコースへ変更した。
- ・全国28都道府県から1,678名のエントリーがあり、前回大会と比較すると全体で342名増加し、市内の参加者は148名増となり、市民の本大会に対する関心や健康に対する意識が向上していると考えられる。
- ・大会には東洋大学陸上競技部のメンバーをゲストランナーとして迎え、10キロとハーフの部にそれぞれ2名が出場し完走した。前回大会に引き続き、ニューイヤー駅伝2025に出場した埼玉医科大学グループのメンバーも10キロの部にエントリーするなど、トップ集団ではハイレベルな戦いが繰り広げられた。
- ・参加者の過半数は40代・50代の方々の、働き世代のスポーツ活動の支援や女性のスポーツ参加支援の一助となっていると考えている。



【エントリー数】

1,678人（男性1,332人、女性346人）

うち、県外参加者 605人（全体の36.1%、第13回大会43.6%）

種目別／（ハーフ）754人 （10km）719人 （5km）205人

- ・市民ボランティアの積極的な参加と地元企業の協力により、参加者と市民の一体感が回を重ねるごとに増し、酒田市のにぎわいを創出することができた。

【警備・給水所等ボランティアスタッフ】 493人

- ・一般ボランティア（一般・企業・各協力団体等）204人
- ・各地区体育・スポーツ振興会、酒田市スポーツ推進委員152人
- ・宮野浦体育振興会75人
- ・食生活改善推進協議会22人
- ・救護関係29人（酒田地区医師会十全堂・地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構・酒田地区広域行政組合消防本部・SMART）
- ・市職員11人 ※他、警備員（委託契約）110人

- ・前回大会に引き続き、市内高校生及び東北公益文科大学生にもボランティア協力を呼び掛け、高校生 41 名、大学生 3 名の申し込みがあった（協力してくれた高校生には大会実行委員会発行のボランティア活動証明書を配布した）。
- ・今大会のゲストランナーとして野々村 真さんを迎え（7 回目の参加）、ランナーや沿道で応援する方々と触れ合ってもらい、大会を盛り上げた。
- ・完走者へフィニッシャーズタオルを配布した（完走率 98.8%）。
- ・今大会では、フィニッシュ後に芋煮と、生麺をその場で茹でた「酒田のラーメン」、つや姫おにぎりを用意し、ランナーへ庄内の味を振る舞った。



2 モルック東北大会

- ・DENKI TEKKO グラウンド（光ヶ丘多目的グラウンド）を会場に開催されたモルックの東北大会「東北シングルスカップ TSC」（令和 7 年 11 月 8 日）へ補助金を交付した。
- ・東北で開催するモルックの個人戦大会として、48 名（県内 26 名、県外 22 名）の参加者が集まり競技を行った。

※県外内訳(宮城 8 名、青森・秋田 4 名、新潟 3 名、福島 2 名、岩手 1 名)

3 スポーツフェスティバル

- ・ニュースポーツの普及に加え、市民が一堂に会し、家族やサークル仲間、地域住民等みんなですポーツを楽しむ機会を創出するとともに、交流の輪を広げながら健康・体力の増進を図り、明るく住みよい地域づくりを推進することを目的に「酒田市スポーツフェスティバル 2025」を開催（令和 7 年 7 月 6 日）。
- ・子どもが楽しめるパルクールの用具を用いた運動遊び教室やスポーツ鬼ごっこの各種体験ブースを設けたり、モルック・カローリングの大会を開催したりするなど 1 日を通してスポーツの楽しさを満喫できるイベントとなった。
- ・大会参加者 58 チーム 230 名、体験会参加者 9 種目延べ 775 名、合計 1,005 名（前年比 56 名増）が会場である INPEX 酒田アリーナを訪れた。

●体験会種目

1	一輪車教室
2	運動遊び教室
3	スポーツ鬼ごっこ
4	ルディックウォーキング
5	ポッチャ
6	酒田方言大判かるた
7	体力測定会・身体組成計測
8	スポーツ教室
9	防災ブース

●大会結果

モルック大会

①地区対抗戦	
第1位	黒森
第2位	亀ヶ崎
第3位	松陵

②交流対抗戦	
第1位	武投会
第2位	叩き上げクマッスル
第3位	チームGY

カローリング大会

①地区対抗戦	
第1位	亀ヶ崎
第2位	十坂
第3位	東平田

②交流対抗戦	
第1位	浜中B
第2位	本楯京屋B
第3位	東山A

4 市駅伝競走大会

- ・昨年に引き続き、光ヶ丘クロスカントリーコースを周回するコースで「酒田市駅伝競走大会 2025」を開催（令和7年11月9日）。
- ・大会参加者は12チーム116名（1部：9チーム、2部：3チーム）がエントリーした。
- ・各地区体育・スポーツ振興会及び市スポーツ推進委員会から49名のスタッフに協力をいただき、大きな混乱やトラブルもなく安全安心に大会を運営することができた。

●大会結果

【1部】

順位	チーム	記録
1位	松陵	1時間19分21秒
2位	いずみ	1時間25分42秒
3位	富士見	1時間26分52秒

【2部】

順位	チーム	記録
1位	岡田クリニックRC	1時間36分31秒
2位	めんたま	1時間39分46秒
3位	honmahp volunteer	2時間05分41秒

【1部区間賞】

区間	所属	名前	記録
1区(5.2km)	松陵	桑折 純之介	16分55秒
2区(2.8km)	松山	富樫 陽真	9分21秒
3区(2.8km)	富士見	五十嵐 陽司	9分17秒
4区(2.8km)	富士見	佐藤 豊	10分47秒
5区(2.8km)	松陵	堀 太郎	10分21秒
6区(2.8km)	若浜	加藤 絢翔	9分17秒
7区(2.8km)	松陵	讃岐 健太郎	10分07秒
女性部門(2.8km)	富士見	池田 心希	11分17秒

5 東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけとするニュージーランドとの交流

- ・国外交流（ニュージーランド）に関する事業は、令和6年4月に交流観光課から共生社会課に移管されたが、令和7年度における特筆すべき事業はなし。